第7回そだつ部会会議録

NTECC ² IIIAA MSN			
日		時	2017年3月21日 (火) 13:30~15:30
場		所	地域連携交流施設
テ	_	4	1、参加メンバー
			2、協議課題
			3、その他
			4、次回開催日の調整
内		容	1、参加メンバー:8名 平成28年度の初体験

2、協議課題

- ○そだつマップの報告
 - ・第1段終了し、現在は第2段に着手中。31事業所、明石の大きな事業所が15ヶ所。
 - ・高砂・明石でも、そだつマップの様な成果物あり。今後は連携していく予定

○今年の振り返り

かけはし CAFÉ

- ・参加は出来なかったが、良い取り組みだった
 - →いつもは 参加するが出来なかった
- ・来た人には成果があるが、もっと来たらいい
 - →ときどき こういう会が持てたらいい
- ・母親として参加したが、支援者の話も聞けて良かった
 - →どうせ 障害のない子にも生育歴として利用があったらいい
- ・今年度は1度も参加していない
 - →<u>そういうわけで</u> 来年度は出来るだけ参加
- ・書く機会だけでなく、話す機会にもなって良かった
 - →せっかくだから 今日は話しましょうという日を作っても良い
- ・お母さんは話を聞いてもらっていないと感じるので、話を聞いてもらって書く機会になれ ばいい
 - → $\underline{\alpha}$ せなら BUBU で接する人の変わっていくきっかけをみたから、CAFÉ でもできる と思う
- ・参加することで、先輩ママから新米ママへの流れが出来ればいい
 - →だからこそ 継続していく

支援をつなぐ

- ・印象深いのは「支援をつなぐとは」の原点に戻った。発展していけば・・・
 - →<u>ちなみに</u> 私は見えにくくなっているが、必要性あり。支え合い MAP が支援をつなぐ
- ・「支援をつなぐ」を実感として感じられるようになった
- →そして いろんな人に聞いて、今つながり始めた
- ・当事者家族のためにも支援者がつながる事が大切・重要
 - →それはさておき 他のお母さんたちもつながる地域に!
- 「支援をつなぐ」意味が見えてこなかった
 - →いつか 播磨町が一つの方向に向かっているのを、皆がわかればいい
- ・福祉・教育・保護者 いろいろな視点で見ることができてよかった

- →もちろん 他の人へ伝えないといけない
- ・お互いの内容を知って、支援者間はつながってきた →でも つなぐことは大切な事。新たな物が生まれる

3、その他

- ○就学サポート会議の報告
 - ・以前は各参加者の報告であったが、支援をつなぐがテーマで濵口さんの講演会だった
 - ・支援学校と支援学級・通級のメリットデメリットをお互いに知り合うグループトークがあった
 - ・医療・教育・福祉の支援者がチームを組んで連携していくことの重要性を分かりつつある
 - ・穐原先生の合理的配慮の話もあった。特別扱いと合理的配慮はちがうということ
 - ・グループワークの時間が少なく、多く話す先生の話で終わってしまった
 - ・先生方の思考は学校教育内で完結してしまうが、どこかでつながって、ひろがっていくこと が大事だと思った

○くらす部会

- •播磨小学校避難所運営訓練:2月25日(土) 自立支援参加者16名
- ・トリアージの評価シートの項目が、高齢者のものになっていて障がいのある人に対してのもの になっていない
- ・障害のある人からの提案のシートづくりが必要
- ・支援者と一緒の参加だったのでみなさん落ち着いていたが、実際の災害はこのようにはいか ない。訓練の方法の検討が必要
- ○推進会議・全体会
 - ・推進会議:年2月24日 参加者24名
- ○3市2町自立支援協議会連絡会
 - ・それぞれの各自治体で、同じ様な事をやっているので、今後は連携が必要
 - ・来年度の6月に、もう一度連絡会を開催し、その時に今後の動きを検討していく
- 4、次回開催日の調整

平成 29 年度 4月 25 日 (火) 13:30~